

**都市計画道路桂町戸塚遠藤線（上倉田戸塚地区）
事業計画の変更に伴う説明会の質問に対する回答書**

本説明会に関して、令和3年10月2日（土）から令和3年10月10日（日）までに寄せられた質問について、以下のとおり回答します。

	質 問	回 答
1	<p>桂町戸塚遠藤線の計画決定は、今から約50年以上前の昭和43年と認識しています。</p> <p>既に環状3号、4号とある中、この道路の建設がそもそも必要とは思えません。</p> <p>事業の中止を決断する勇気も必要ではないでしょうか。</p> <p>総事業費はいくらですか。</p> <p>国からの補助金はいくらですか。</p> <p>横浜市の財政からは、いくら歳出されますか。</p> <p>各年度別に教えていただけますか。</p>	<p>桂町戸塚遠藤線は、本市の幹線道路網の骨格を成す、3環状10放射道路のひとつに位置付けている重要な路線です。</p> <p>本地区の整備により、JRと柏尾川により分断された戸塚駅周辺地域の東西を連絡することから、交通利便性の向上、緊急物資輸送路の確保などの整備効果を見込んでいます。また、本地区の用地取得率は8割を超え、本格的に橋梁工事等にも着手していることから、事業を継続し、整備効果を早期に発現することが必要だと考えています。</p> <p>本地区の総事業費は約150億円で、そのうち、55%（82.5億円）が国からの補助金、45%（67.5億円）が横浜市からの歳出となる計画です。各年度別の事業費は用地取得状況等によるため確定していません。</p>